

絵や立体、工作に表す活動部会（下学年） 提案発表

第3学年 題材名 『ふくろの中には、何が・・・』

工作 A表現(1)イ、(2)イ、B鑑賞(1)ア、共通事項(1)ア、(1)イ



里浦小学校 前田 美里

分科会主題

主題① 絵や立体、工作に表す活動を通して、表し方を工夫することができるようにするにはどうすればよいか。  
(知識及び技能)

主題② 絵や立体、工作に表す活動を通して、表したいことを見付けることや、表したいことについて考えることができるようにするにはどうすればよいか。  
(思考力、判断力、表現力等)

2

鳴門市小学校図画工作科部会の研究内容

主題①と主題②に加え

指導と評価の一体化についての研究を深める。

3

取り組みの方針

主題① 絵や立体、工作に表す活動を通して、表し方を工夫することができるようにするにはどうすればよいか。  
(知識及び技能)

表し方の引き出しを増やす

材料を触って、質感や硬さ、色等を感じ、どのように使えるかをみんなで考える。

教師側からも工夫の仕方等を積極的に提供する。

4

取り組みの方針

主題② 絵や立体、工作に表す活動を通して、表したいことを見付けることや、表したいことについて考えることができるようにするにはどうすればよいか。

(思考力、判断力、表現力等)

ひらめきを助ける手立ての工夫

紙芝居で物語性をもたせる

アイデアを共有する時間の設定

友達の様子が変わる机や材料の配置

5

取り組みの方針

指導と評価の一体化についての研究を深める

観点別の評価を計画的に配置  
中間評価を入れ、指導改善や授業プランを見直す

「本時のめあて」に加えて「活動のポイント」の提示

★「活動のポイント」・その時間に評価する内容  
・児童も指導者も同じポイントを意識して活動

6

題材の目標

ア いろいろな材料を見たり触れたり集めたりして、それぞれの形や色の感じが分かるとともに、材料や用具を適切に扱い、想像した世界を袋の中に表現できるように表し方を工夫して表す。  
(知識及び技能)

イ 材料や袋の形を生かしながら、想像した世界をどのように表すかについて考えるとともに、自分の表したい世界についての見方や感じ方を広げる。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ いろいろな材料で袋の中の世界をつくることに関心をもち、進んで取り組もうとする。

(学びに向かう力、人間性等)

7

指導計画 (全7時間)

時間	学習活動
1	準備 (アイデアスケッチ・材料について考える)
2	製作 (前半)
3	
4	振り返りの時間 (途中経過の報告等) ※授業プランの見直しによって、4時間目を追加
5	製作 (後半)
6	
7	鑑賞の時間

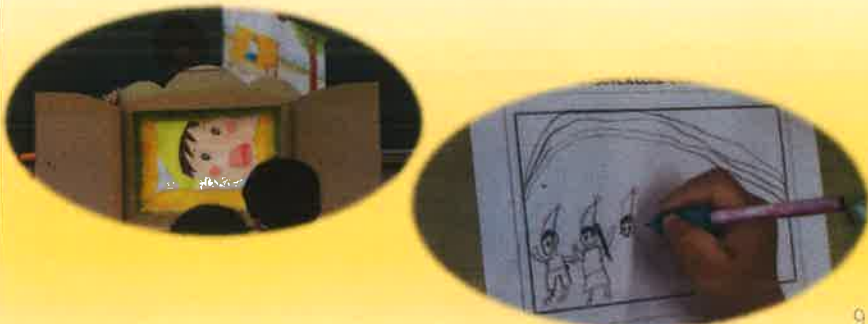
8

1 時間目 (導入) あすかちゃんが見た不思議な世界って、どんな世界だろう。

活動の  
ポイント

- ・不思議な世界をワークシートに描こう。
- ・必要な材料を考えよう。

思 ○  
知 ◎



9

紙芝居 「ふくろの中には、何が・・・」



お天気がとてもいい日。あすかちゃんは、いつもの公園へお散歩に出かけました。ベンチに座って、ひと休みしていると、どこからかカサカサ カサカサ・・・と聞こえてきます。辺りをきょろきょろ見回すと、木の下に落ちている袋の中から聞こえてきます。  
あすかちゃんは、どきどきしながら、袋の中をそっとのぞきこむと・・・袋の中には、とても不思議な世界が広がっていました！

10

1 時間目 (導入)

ワークシート (子どもたちが想像した不思議な世界)



11

2・3 時間目 (製作・前半)

いろいろな材料を使って、イメージした世界をつくろう。

活動の  
ポイント

- ・いろいろな材料を工夫しながらつくろう。
- ・道具を安全に使う。

思 ◎  
技 ○



12

いろいろな材料を使って、自分のイメージを表現している作品



プラスチックコップ、ゼリー容器  
ペットボトル、発泡スチロール、  
モールド（果物緩衝材）、紙箱等



発泡スチロール、毛糸、綿、  
ガーゼタオル、紙粘土、モールド等

13

使用している材料が少なく、小人や動物などのキャラクターづくりに意識が向いている作品



袋の中全体のイメージをうまく表現することができない。

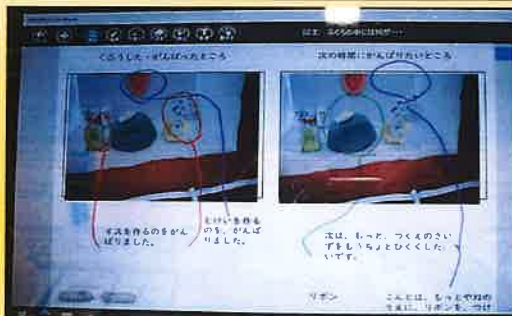
14

4 時間目（振り返りの時間） 自分の作品についてせつめいしよう。

活動の  
ポイント

- ・がんばったところやこままっているところについてせつめいしよう。
- ・友だちの作品のよいところを見つけよう。

思 ©



MetaMojiを使用

15

4 時間目（振り返りの時間） 自分の作品について説明している様子



16

5・6時間目（製作 後半） **イメージを広げてどんどんつくろう**

活動の  
ポイント

- ・ふり返りの時間に考えたものを材料の形や色、組み合わせなどを考えてつくろう。
- ・材料に合ったせっちゃくざいを考えよう。

思  
技



17

A君の変容 タブレット記録（前半の製作が終わった状態）

くふうした・がんばったところ

次の時間にがんばりたいところ



貝をホットボンド  
で つけるところ  
を工夫した。

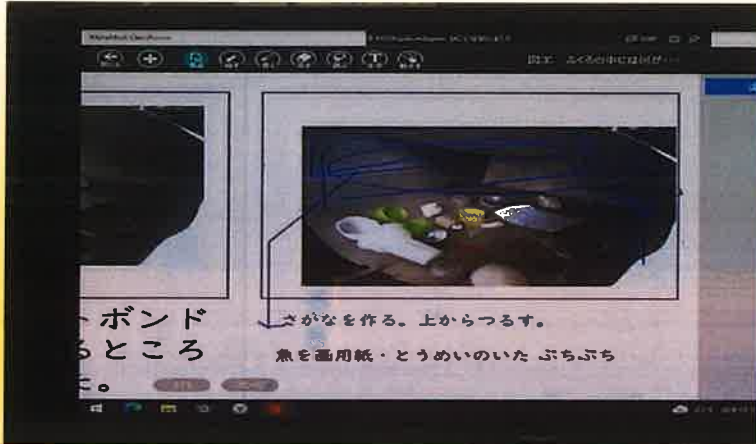


さかなを作る。上からつるす。

魚を画用紙・とうめいのいた ぶちぶち

18

4時間目に友達からアドバイスをもらっている様子



19

A君の完成した作品




20

7時間目（鑑賞の時間） みんなの作品のよさを見つけよう。

活動のポイント

- 自分の作品のおすすめポイントをしようかいしよう。
- 友だちの作品のすてきなところをつたえよう。



一人一人の作品を紹介した後、実物を鑑賞

- 見て欲しいところを注目してくれる。
- 見どころがわかり、より楽しめる。

21

7時間目（鑑賞の時間） タブレット使って紹介している様子



22

A君の感想（タブレット記録より）

くふうしたこと・がんばったこと

貝の作りかたがすごかった。しょうご

かいがらがきれいにできています。おどほ

ぶちぶちが淹みたいで波がきれいです。かずき

さかなをひもで作ったぶちぶちで湯をいめじした。

友達からの感想には、おすすめポイントで紹介した内容についてコメントが寄せられていた。

23

結果と考察

主題① 絵や立体、工作に表す活動を通して、表し方を工夫することができるようにするにはどうすればよいか。（知識及び技能）

表し方の引き出しを増やす

あらゆる場面で

材料を触って、質感・硬さ・色等感じ、どのように使えるか一緒に考える。

教師側からも工夫の仕方等を積極的に提供する。

押し付けではなく、必要なものを選択できる！

みんなで考え、ひらめく！

24

結果と考察

主題② 絵や立体、工作に表す活動を通して、表したいことを見付けることや、表したいことについて考えることができるようにするにはどうすればよいか。(思考力、判断力、表現力等)

↓

**ひらめきを助ける手立ての工夫**

↓

紙芝居で物語性をもたせる      アイデアを共有する時間の設定      友達の様子がわかる机や材料の配置

自然に周囲にも目が向く

想像するにも何かしらのきっかけが必要      ICTが効果的  
・作品の記録・友達の作品を鑑賞しやすい  
・思いが伝わりやすい

25

結果と考察

指導と評価の一体化についての研究を深める。

↓

観点別の評価を計画的に配置  
中間評価を入れ、指導改善や授業プランを見直す

↓

★「本時のめあて」に加えて「活動のポイント」の提示  
「活動のポイント」・その時間に評価する内容  
・児童も指導者も同じめあてに取り組む

追加した4時間目は、本題材で一番重要な役割を果たした。

26

**成果**

- ・ 計画的に評価を設定することで、指導者側の余裕ができる。
- ・ 「活動のポイント」を示すことで、指導者と児童の意識が同じゴールを目指すことができ、活動がしやすくなる。
- ・ 評価が明確になり、指導の改善や授業プランの見直しがいやすくなる。

**課題**

- ・ 授業プランの見直しで授業時数が増えてしまったため、他教科との関連を考慮したカリキュラムマネジメントが必要であった。

27

ご清聴ありがとうございました。

28